

もっと！ もち米プロジェクト

※
60

毎月10日は
「名寄もち米の日」

問い合わせ・申し込み先
名寄市食のモデル地域実行協議会
(農務課農政係・風連庁舎1階)
☎01655③2511(内線2312)
ホームページ [名寄もっともち米](http://nayoro-mochigome.com/)
<http://nayoro-mochigome.com/>

名寄市はもち米生産日本一のまちです。もち米を市民の皆さまの誇りとし、子どもたちが自慢できるふるさとづくりを進めるために「もっと！もち米プロジェクト」を実施しています。

2020年のもち米作りがスタート



もち米作りの作業の一部
を紹介します！

除雪作業



ハウスの除雪を行います。雪深い名寄は、一度の除雪では地面まで届かず、何度も除雪することもあります。

※作業時期：3月上旬から

融雪剤の散布



田んぼの雪を早く溶かすため融雪剤をまきます。この融雪剤には、稲を強くするための成分も含まれています。

※作業時期：3月中旬から

ハウスのビニールかけ



もち米の苗を育てるため、ハウスにビニールをかけます。ビニールを広げて行う作業のため、風の無い日を選んで行います。※作業時期：3月下旬から

COLUMN*

VOL.34

なよろっぴい家づくりの会



住まいの省エネ・エコについて

自然エネルギーを無駄なく利用する方法として、夏期間と冬期間の方法・工夫など述べますが、その前に建物の条件・配置などを説明します。

南面に高い建物があつたり、込み入った宅地の内などは立地条件としては好ましくなく避けたい所です。また、窓が大変重要な役目を果しており、特に南面は1階リビング2か所、和室(洋室)1か所、2階の寝室など3か所の計6か所は、透過日射を期待して大きく設備します。結果、冬期間の晴天日は日中の室温が30℃を超え、曇天あるいは降雪の天気の場合は15℃を下回ります。そこで夜間の熱損失を減らす為、夕方には窓内側に取り付けてある断熱引分窓を閉める事が非常に大事で、建物内の熱容量を増大させて、室温の変動幅を縮減するように工夫する必要があります。夏期間は、冬期と同じ状態にしておくと日中の室温が50℃に達する事もあり、とても住める環境ではありません。そこで、南面の窓外部上端に日除けを設け、更に室温上昇の大きい中間

期(春)～夏期～中間期(秋)には、積極的に通風換気や夜間換気を行い、温度調節する事が重要です。その為には、高窓を設備しておき、用心の為の窓格子の取り付けも考えておいた方が良いでしょう。また、西面に窓を設置すると、日没まで日射を受けるので避けましょう。

人間にとって一般的な快適温度は18℃以上30℃未満という事です。しかし、快適温度は、個人差、年齢差、体調の度合いによって大きく異なると思います。今、上記の理想に近い状態にする為の細やかな配慮を述べましたが、個人・年齢差、体調の悪いときなどは現実的な話ではなくなります。次回はその点に触れたいと思います。



■問い合わせ なよろっぴい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)
☎01654⑨6711